

石渡用水組合について

1、沿革

善光寺平は昔から、農業用水が不足し、干ばつが度々発生して農家は大変な苦勞をしていたことから、先人達はそれを解決するために裾花川や犀川から取水をする大規模な土木工事を進め、善光寺平全体に用水路を完備した後は安定的に水稻栽培が営まれるようになりました。

その用水路が分岐して、石渡地区にも 11 本の灌漑用水が通っていますが、近年は水田が減少するとともに、用水としての役割が薄れ、都市部の雨水・排水を受け入れて排水路としての役割を担うようになってきています。

しかし、市内を流れる水路は、ほとんど農業用水路であることから、これまでは川の管理は地区ごとに用水組合を組織し、その組合員・農業者が中心となって維持管理をしてきました。

今後は、農業用水路としてだけでなく、景観や水辺環境・生態系の保全にも配慮した、地域の財産として次世代に引き継いでいくことが求められており、農業者だけでなく、地域の皆さんが一体となって管理していくことが望まれるところです。

2、石渡用水組合の組織・運営

用水組合の組合長は従来、区長が兼務していましたが、昭和 30 年代以降、水田耕作者が減少してきたことから、昭和 49 年に区から独立して運営するようになり、用水組合長、副組合長、相談役の組織体制で運営しています。

3、事業

石渡の地区内には、「セギ」と呼ばれる灌漑用水路が何本も流れていますが、この水路の維持・管理をはじめ、用水取水口である上流（市街地）まで出向いて、系統水路の管理をするとともに、用水路に隣接する土地に関し、住宅建設が計画される場合にはその境界の立会等も実施しています。

また、地域における水害の発生を未然に防ぐため種々検討を重ねながら、関係機関に対しては計画的な防止対策を進めるよう意見反映をしています。

4、区民の皆様にお願

近年は下水道が完備し、用水路の水は大変きれいになってきましたが、用水路（河川）の中に空き缶やビニール袋等色々なゴミが不法に投棄されているのが見受けられます。

水辺環境が少しでも美しくなるよう、住民の皆様方のご協力をお願いいたします。

また、区内の用水路は大雨の時には瞬間的に増水し、大変な水量となります。特にお子様方の不慮の事故を未然に防ぐため、日頃から用水路の中には絶対に入らないよう注意喚起をお願いいたします。

以上